作成日: 令和3年9月18日

| 考図書・       NO.       1       2       3       2       4       3       2       4       3       4       3       4       3       4       3       4       3       4       3       4       3       4       4       3       4       4       4       3       4       4       4       5       6       4       7       8       6       7       8       9       10       10 </th <th>択<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)<br/>(大)</th> <th>目的とする。また、練習問題を実施し、ど<br/>後期では、給排水衛生設備、換気設備、電<br/>後期に目指す 2 級建築施工管理学科試験、</th> <th>のような出題形式 気設備、照明設備、照明設備、照明設備、照明設備 そしてその後の 2 級建築士 試験で</th> <th>講義 時間数 16時間  描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を</th> | 択<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)                                     | 目的とする。また、練習問題を実施し、ど<br>後期では、給排水衛生設備、換気設備、電<br>後期に目指す 2 級建築施工管理学科試験、  | のような出題形式 気設備、照明設備、照明設備、照明設備、照明設備 そしてその後の 2 級建築士 試験で   | 講義 時間数 16時間  描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を  |
|--|---|--|---|---|
| 必修 概の標準学   | 択<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)<br>(大)                                     | 必修<br>授業はブリントを使用し、分かりやすい言目的とする。また、練習問題を実施し、ど後期では、給排水衛生設備、換気設備、電後期に目指す2級建築施工管理学科試験、<br>2級建築施工管理学科試験、2系<br>初学者の建築講座 建築設備(第 | 授業形式<br>葉を用いたり図を<br>のような出題形式<br>気設備、照明設備<br>そしてその後の2<br>吸建築士試験で   | ##は、などして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を<br>*で問われるかも合わせて確認する。<br>*** とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。  *** と数建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。  *** 一番 「おおいれの知識定着を目標とする。  *** 一番 「おおいれの知識定者を目標とする。  *** 一番 「おおいれの知識を着を目標とする。  *** 「おおいれの知識を着を目標とする。  「おおいれの知識を着を目標とする。  「おおいれの知識を解くことが出来る。  「おおいれる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。  「ないれる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。  「ないれる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。  「ないれる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。 |
| 授業 概の進学() 子考() 子考() 1123456※123456※67※   | 、目的、<br>め方<br>標)<br>・その他資料<br>明設備<br><sup>2</sup> 気調和設備   | 授業はブリントを使用し、分かりやすい言目的とする。また、練習問題を実施し、ど後期では、給排水衛生設備、換気設備、電後期に目指す2級建築施工管理学科試験、<br>2級建築施工管理学科試験、2組<br>初学者の建築講座 建築設備(第       | 葉を用いたり図を<br>のような出題形式<br>気設備、照明設備<br>そしてその後の2<br>吸建築士試験含<br>第四版)   | 提供などして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を<br>れで問われるかも合わせて確認する。<br>減、とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。<br>級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。<br>合格レベルの知識定着を目標とする。<br>学習方法・準備学習・備考<br>照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。   |
| 授業の進学習達スま・<br>NO.11234567  | 、目的、<br>参方<br>標)<br>・教材・参<br>その他資料<br>昭明設備<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | 目的とする。また、練習問題を実施し、ど<br>後期では、給排水衛生設備、換気設備、電<br>後期に目指す2級建築施工管理学科試験、<br>2級建築施工管理学科試験、2系<br>初学者の建築講座 建築設備(第                  | のような出題形式 気設備、照明設備、照明設備、照明設備、照明設備 そしてその後の 2 級建築士 試験で   | で問われるかも合わせて確認する。<br>i、とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。<br>2 級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。<br>合格レベルの知識定着を目標とする。<br>合格レベルの知識定着を目標とする。<br>照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。  |
| (到達目標 テキスト 考図書・ NO.       NO.     知知   | 標)<br>・教材・参<br>その他資料<br>明設備<br>型降設備   | 初学者の建築講座 建築設備(第  | 第四版)  | 学習方法・準備学習・備考<br>照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、  |
| 考図書・       NO.       1       2       3       4       5       6       7       ※   | その他資料<br>の他資料<br>の明設備<br>と<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の                 |  |   | 照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、  |
| 1 照<br>2 昇<br>3 空<br>4 消<br>5 設<br>6 省   | <sup>2</sup> 降設備<br><sup>2</sup> 気調和設備  | 授業項目、内容  |   | 照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、  |
| 2 昇<br>3 空<br>4 消<br>5 設<br>6 省<br>7 ※   | <sup>2</sup> 降設備<br><sup>2</sup> 気調和設備  |  |   | 分野も問題を解くことが出来る。<br>昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、  |
| 3 空<br>4 消<br>5 設<br>6 省   | 2気調和設備  |  |   | 分野も問題を解くことが出来る。<br>空気調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、   |
| 4 消<br>5 設<br>6 省<br>7 ※   |   |  |   |   |
| 5 設<br>6 省<br>7 ※  | 的設備   |  |   |   |
| 6 省  | 消防設備  |  |   | 消防設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その<br>分野も問題を解くことが出来る。   |
| 7 **   | は備図面・設備   | 记号   |   | 設備図面・設備記号を理解し、重要事項を読み取ることが出来<br>る。  |
|  | 江ネ設計  |  |   | 省エネ設計における設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。  |
|  | ※各分野ごとに評価テストを行う。(4回を予定)   |  |   |   |
| 8 **   | ※毎回の授業で授業要点レポートに取り組む。   |  |   |   |
| 9  |   |  |   |   |
| 10   |   |  |   |   |
|  | 評価  | 方法・成績評価基準  |   | 履修上の注意  |
| 評価テスト 授業要点レポート 80 % 20 % % % %<br>成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。<br>実務経験教員の経歴 意匠設計実務4年  |   |  | 各分野ごとに評価テストを行う。評価テストに加え、授業ごとに授業要点レポート<br>の提出を課すのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出<br>期限の厳守、課題内容によって評価をする。評価テストはもちろん、日頃の学習を<br>疎かにすることなく、授業に臨むこと。<br>建築設備は快適な居住環境を整えるためになくてはならないもの。身の回りで使わ<br>れているところを探し、イメージを持って学習しましょう。 |   |